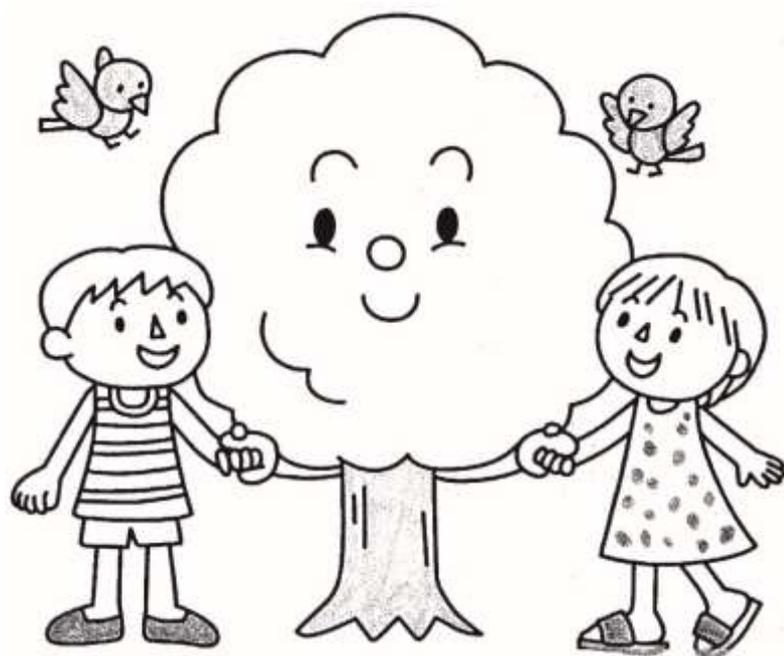


令和 7 年度

「ごみ」ってなんだろう？

— 美しい^{まち}街にするために

ごみについて考えよう —



大垣市クリーンセンター

あなたの手
ごみを減らす手
きれいな手



この本は、小学生を対象に編集しています。

はじめに

毎日のくらしの中から、たくさんの「ごみ」が出ます。なかには、まだ使える物もあります。

さて、「ごみ」がふえ^っ続けたらいったいどうなるでしょう？

「ごみ」は、なぜ出るのでしょうか？

「ごみ」をへらすには、どうしたらよいのでしょうか？

このことをみなさんにも考えてもらいたくて、この「本」を作りました。

この「本」を手がかりに、友だちや先生、おうちの人と、調べたり、話し合ったりしてください。



もくじ

1. 私^{わたし}たちのくらしとごみ

- (1) 身のまわりのごみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) どんなごみがあるか調べてみよう・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) 1年間にどれだけのごみが出るのだろう・・・・・・・・ 3
- (4) 1日にどんなごみがどれくらい出るのだろう・・・・ 4
- (5) 2つのグラフをくらべてみよう・・・・・・・・・・・・ 5

2. ごみのゆくえ

- (1) ごみを集める日と、ごみの分け方・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) ごみを集める場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (3) ごみを集める車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (4) ごみステーションから^{しよりしせつ}処理施設へ・・・・・・・・ 10
- (5) クリーンセンターのしくみ・・・・・・・・・・・・ 12
- (6) リサイクルセンターのしくみ・・・・・・・・・・・・ 14
- (7) もやした後^のこるもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

3. ごみ^{しより}を処理するには、どれくらいお金がかかるのだろう

- (1) ごみ^{しより}を処理するために使うお金・・・・・・・・・・・・ 17
- (2) 1人分のごみ、1軒^{けん}分のごみ^{しより}を処理するお金・・・・・・・・ 17

クリーンセンター・リサイクルセンター聞きとりカード・・・・ 18

4. ごみをへらそう

- (1) ごみをへらすためにできること 19
- (2) ごみをへらすキーワードは「4R」 20
 - ・ Reduce (リデュース) ・ Refuse (リフューズ)
 - ・ Reuse (リユース) ・ Recycle (リサイクル)

5. みんなのまちをきれいにしよう

- (1) ごみを出すときの約束 22
- (2) 大垣市を日本一美しいまちにするために 24
- (3) まとめ 25

6. 大垣市のごみ^{しよ}理のあゆみ 26

1. ^{わたし} 私たちのくらしとごみ

(1) 身のまわりのごみ

^{わたし} 私たちは、毎日いろいろな物を使ってくらしています。
そして、使われなくなったものが、ごみとして捨^すてられます。
みなさんのまわりには、どんなごみがありますか？

食べもの

- 野菜くず
- 残り物
- ^{くだもの} 果物の皮

つつむもの

- 紙ぶくろ
- ほうそう紙
- ビニールぶくろ

いれもの

- 紙や木の箱
- カンやビン
- ペットボトル

きもの・はきもの

- 服
- くつ・スリッパ
- はぎれ

読むもの

- 新聞紙
- ^{ざっし} 雑誌・まんが
- 本
- チラシ

そのほか

- おもちゃ
- 家具
- ^{でんかせいひん} 電化製品

いろいろな物がごみとして出されています。
この分け方は、「物の使いみち」に目をつけた分け方です。
それでは、私たちの住んでいる大垣市では、ごみをどのように分
けているのでしょうか。

(2) どんなごみがあるか調べてみよう

① 家から出るごみを調べ、下の表にまとめましょう。

家のごみ調べ		調べた日	月 日 ()
ごみの種類など	出るところ	おもに出す人	家の人に聞いたこと
れい 例/やさいくず	だいどころ	おかあさん	
			わかったこと

② 教室のごみを調べてみましょう。

- 新聞紙を広げて、ごみばこをひっくりかえしてみよう。
- 出てきたものを表にして、どんなものが捨てられていたか調べてみよう。
- わかったことや思ったことを、みんなで話しよう。

(3) 1年間にどれだけのごみが出るのだろう

こたえ 48,664トン (令和6年度)

※みなさんの学校にあるプールの約708杯分になります。

(計算式)

- ① プール1杯分の容量 (かさ)

長さ25m×はば11m×ふかさ1m = 275 m³

- ② ごみ1 m³の重さ

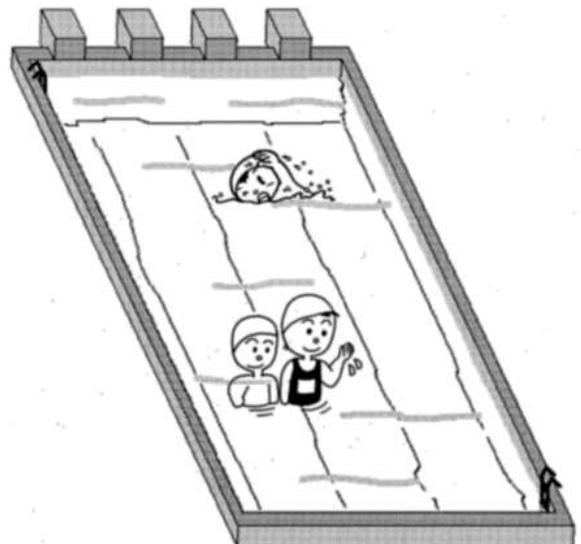
0.25 トン

- ③ プール1杯分のごみの重さ

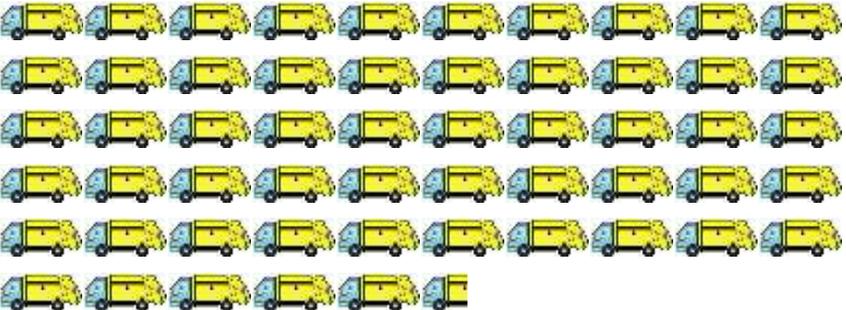
0.25 トン × 275 m³ = 68.75 トン

- ④ ごみ48,664トン分のプールの数

48,664 ÷ 68.75 トン ≒ 708 杯



(4) 1日にどんなごみがどれくらい出るのだろう

<p>もえるごみ 1 1 1. 1 トン <small>しゅうしゅうしゃ</small> 収集車 5 5. 6 台分</p>	
<p>もえないごみ 7. 5 トン <small>しゅうしゅうしゃ</small> 収集車 3. 8 台分</p>	
<p><small>しげん</small> 資源ごみ 4. 9 トン <small>しゅうしゅうしゃ</small> 収集車 2. 5 台分</p>	
<p><small>しげんかいしゅう</small> 資源回収など 4. 3 トン <small>しゅうしゅうしゃ</small> 収集車 2. 2 台分</p>	
<p><small>るい</small> がれき類 5. 5 トン <small>しゅうしゅうしゃ</small> 収集車 2. 8 台分</p>	

※1年間は、365日としています。

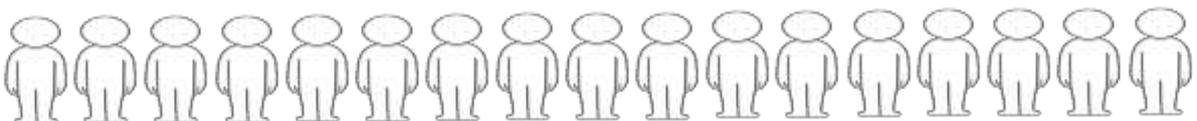
※「もえないごみ」に有害ゆうがいごみと大型おおがたごみをふくみます。

※「資源しげんごみ」はビン、缶、ペットボトル、プラスチックようきです。

※「資源回収しげんかいしゅう」はダンボール、新聞、雑誌ざっし・雑がみ、紙パック、アルミ、カン、布類ぬのるいです。

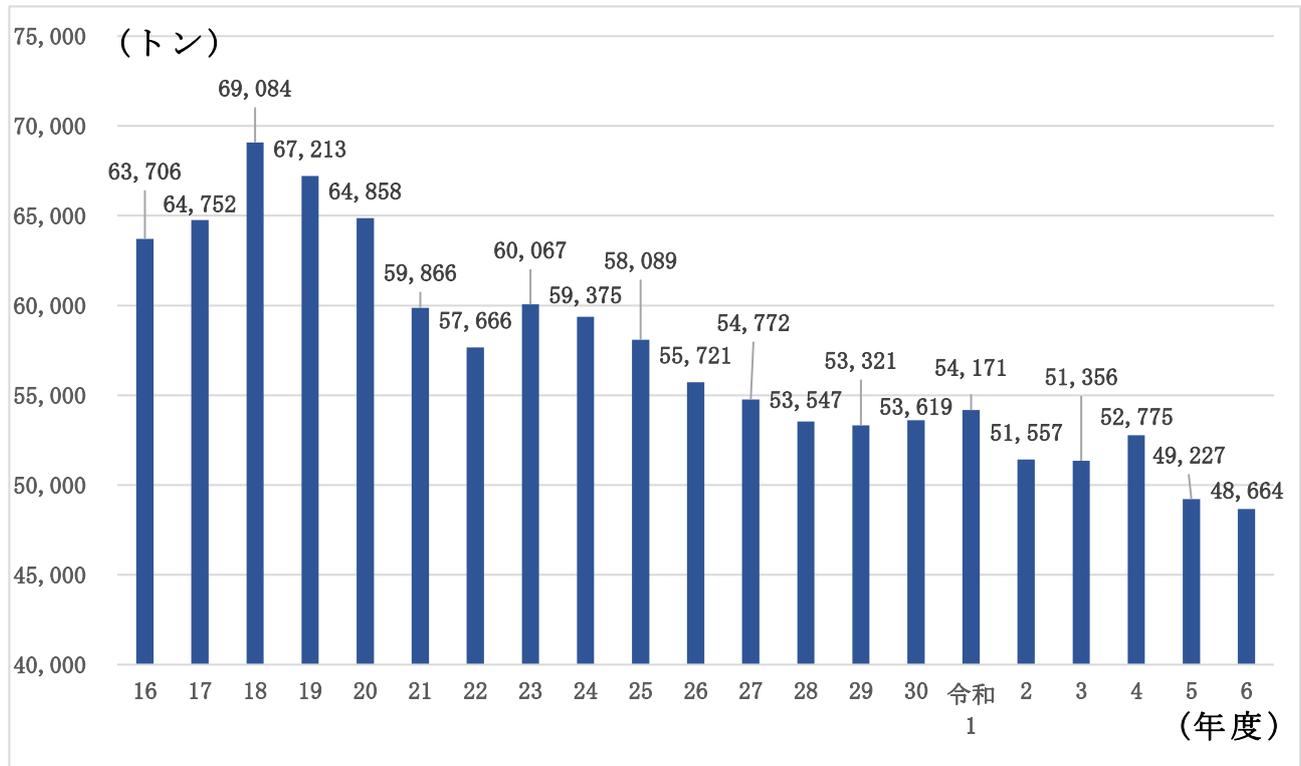
※ごみ収集車しゅうしゅうしゃは、1台あたり2トンのごみを運べるとしています。

※1トンは、人間17人分の重さです。



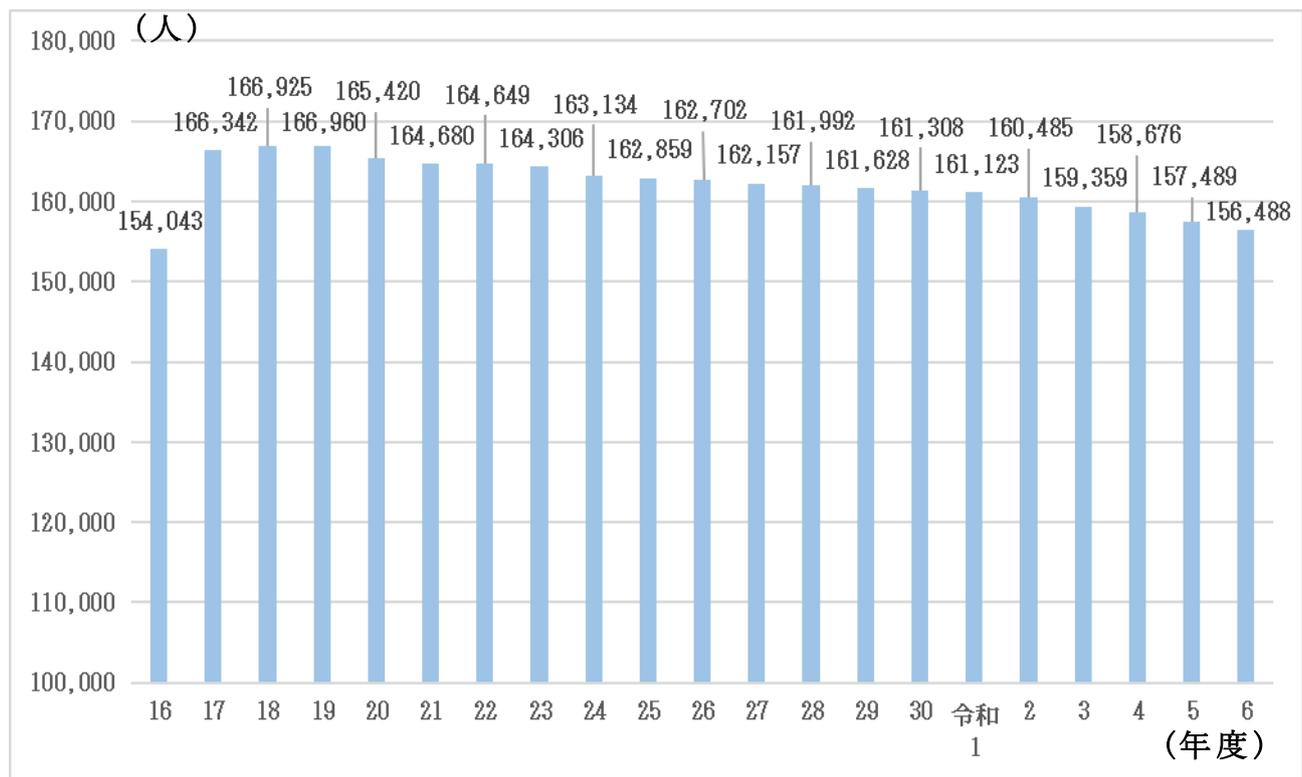
(5) 2つのグラフをくらべてみよう

① ごみ量のうつりかわり



※令和6年度は、^{ゆうりょうしてい}有料指定ごみぶくろ^{せいど}制度が始まった^{えいきょう}影響で、ごみ量が減りました。

② 大垣市の人口のうつりかわり



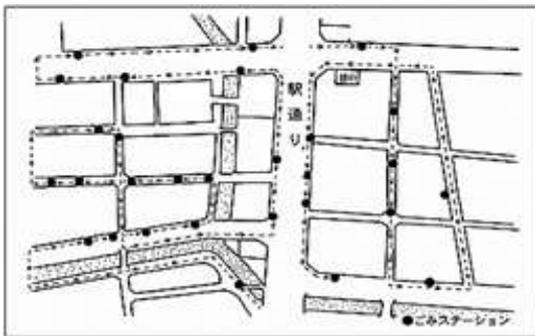
平成 17 年度（平成 18 年 3 月）に、大垣市と
上石津町と^{すのまた}墨俣町ががっぺいしました。

(2) ごみを集める場所

ごみを集める場所を**ごみステーション**といいます。

大垣市には、ごみステーションが約**4,000か所**あります。

ごみステーションの場所は、ちいきの人たちとクリーンセンターが相談^{そうだん}して決めます。



ごみステーションの中には、ごみを集める日だけ、道路や水路を利用してある所もあります。

また、ごみを集めたあとは、収集車^{しゅうしゅうしゃ}から水をまいて、きれいにしてあります。



きれいなごみステーションにするために、協力している人たちが、たくさんいます。

ごみは、ルールを守って出しましょう。



(3) ごみを集める車

ごみを集める車のことを^{しゅうしゅうしゃ}収集車といいます。^{しゅうしゅうしゃ}収集車は、ごみステーションを^{じゅんばん}順番にまわって、ごみを集めます。

プレスパッカー車



プレスパッカー車



2tトラック



クレーンつき5tトラック



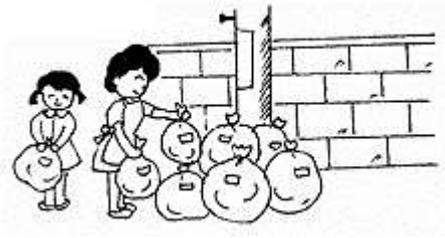
軽トラック



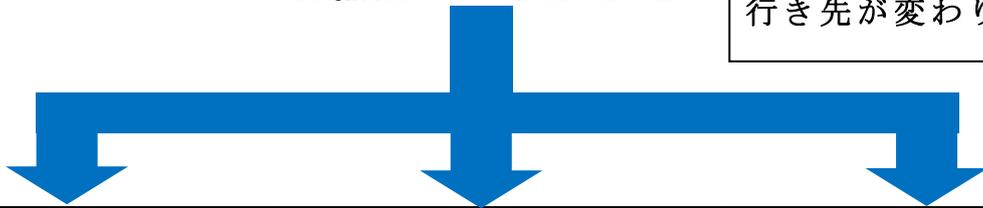
パワーリフトつき軽トラック



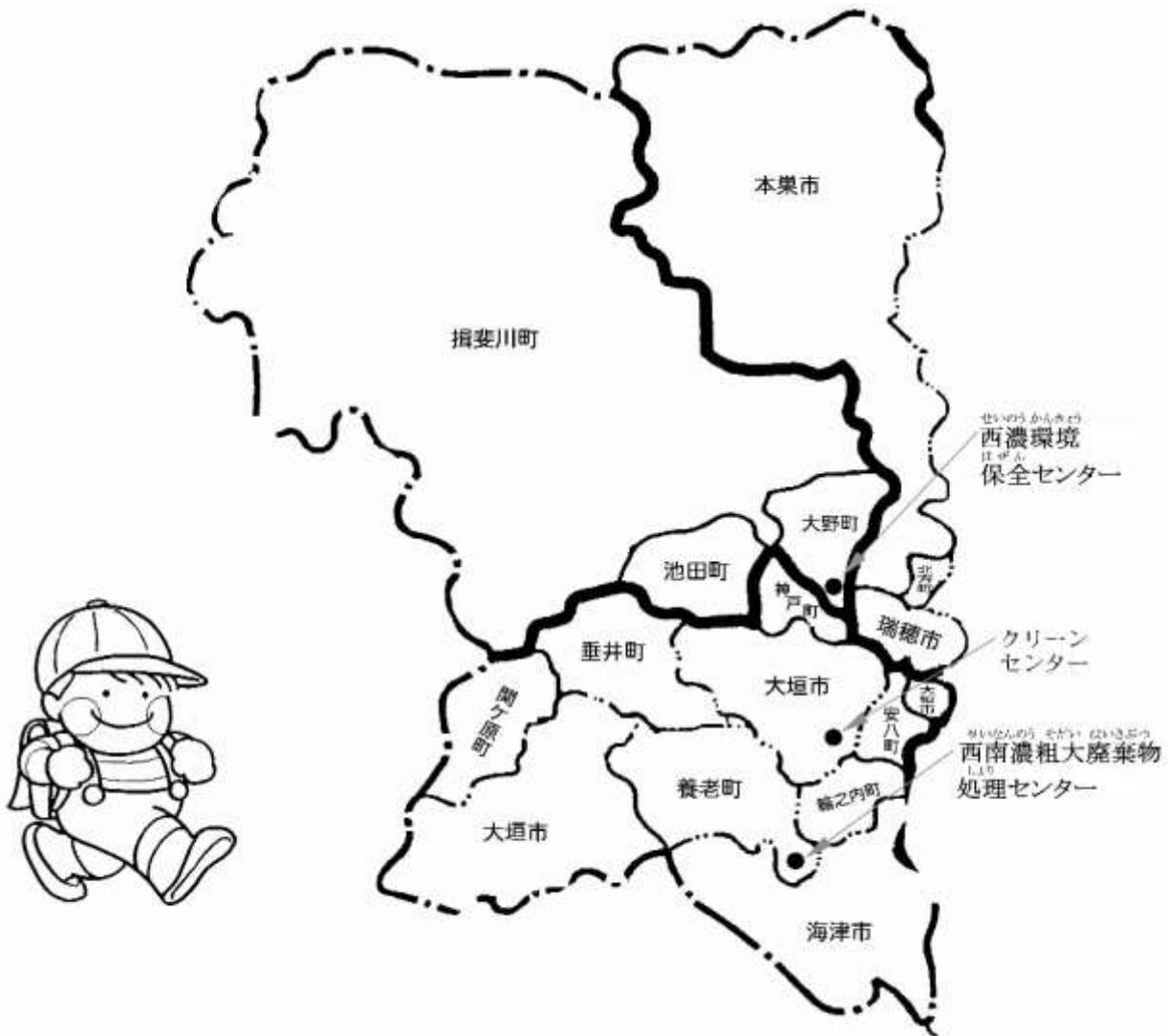
(4) ごみステーションから^{しよりしせつ}処理施設へ



ごみの種類ごとに
行き先が変わります。



もえるごみ	もえないごみ・ ^{おおがた} 大型ごみ	^{しげん} 資源ごみ
<p>大垣市クリーンセンターまたは^{せいのかんきょう}西濃環境^{ほぜん}保全センターへ運び、もやします。</p> <p>もやした後の^{はい}灰も、なるべく^{しげん}資源として利用しています。</p>	<p>^{せいのう}西南^{なんのう}濃粗^そ大^{だいはい}廃棄物^{きぶつ}処理^{しより}センターへ運び、細かくくださいます。</p> <p>くだいたあとに、もえるごみはクリーンセンターへ、その他のごみは、^{しげん}資源化施設^{かしせつ}やうめ立て地に運びます。</p>	<p>プラスチックようきは 大垣市リサイクルセンターへ、ビン・カン・ペットボトルなどはそれぞれの^{しげん}資源化施設^{かしせつ}へ運びます。</p>



せいのかんきょうほぜん
西濃環境保全センターは、

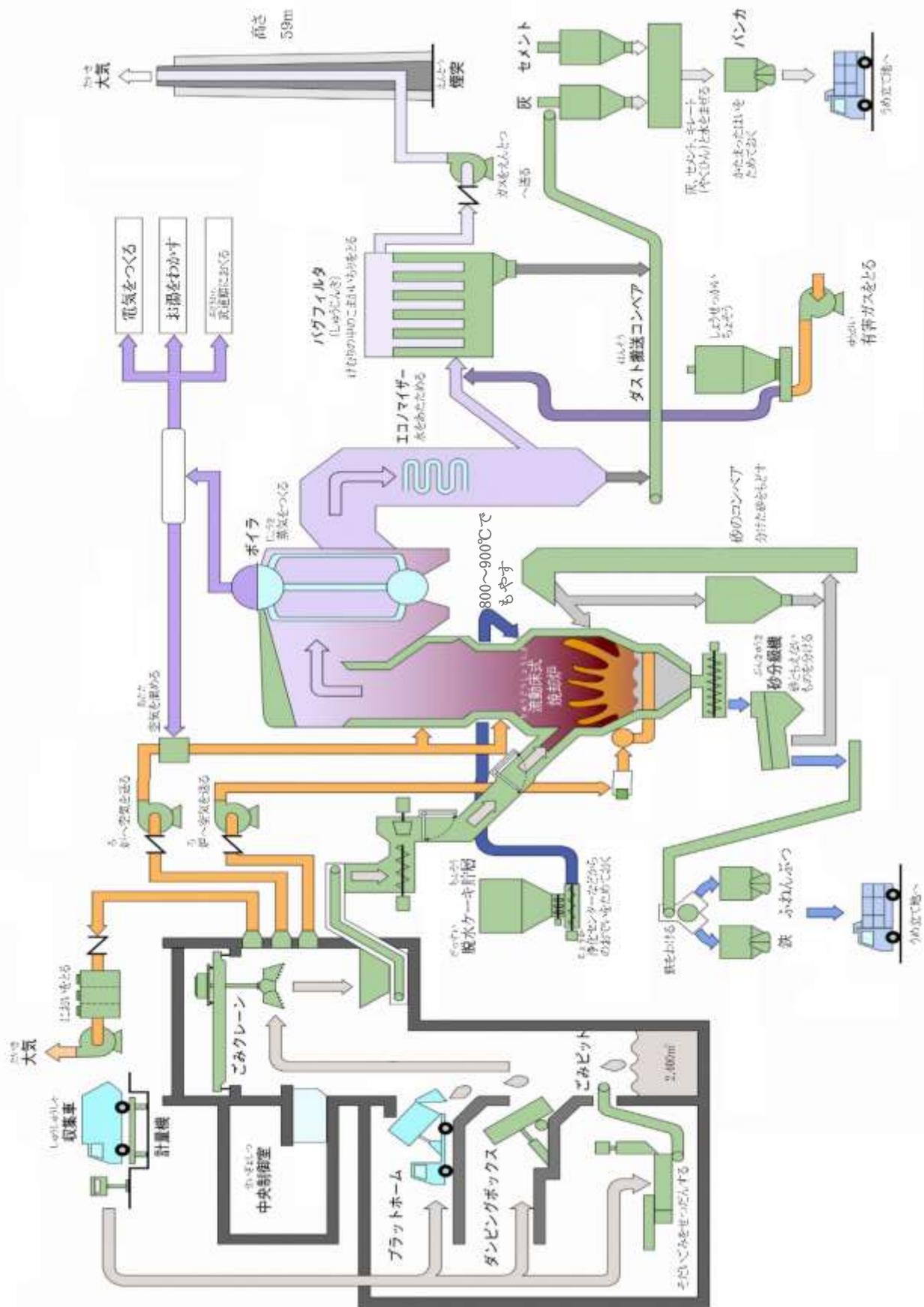
みずほし もとすし おおのちよう ごうどちよう わのうちちよう あんぱちちよう
大垣市・瑞穂市・本巣市・大野町・神戸町・輪之内町・安八町・
いびがわちよう いけだちよう きたがたちよう
揖斐川町・池田町・北方町が利用する、ごみをもやす施設です。

せいなんのう そだいはいきぶつしより
西南濃粗大廃棄物処理センターは、

かいづし ようろうちよう たるいちよう せきはらちちよう ごうどちよう わのうちちよう
大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・
あんぱちちよう
安八町が利用する、ごみを細かくくたく施設です。

どうして市や町が協力しているのか、考えてみよう。

(5) クリーンセンターのしくみ



よくあるしつもん

しつもん1

クリーンセンターには、何人くらいの人
がはたらいているの？

(こたえ)

約130人がはたらいています。ごみ
をもやす人、ごみを集める人、ごみを分
ける人などがいます。

しつもん3

どうして、こんなに大きなごみピット
が必要なの？

(こたえ)

大垣まつりやお正月など、とてもたく
さんのごみが出たときにもこまらない
ようにしています。

また、機械の修理しゅうりで焼却炉しょうきやくろが休
むときにも、ごみがあふれないようにし
ています。

しつもん2

クリーンセンターでは、どれくらい
のごみをもやしているの？

(こたえ)

1日に80トン（収集車しゅうしゅうしゃ40台
分）のごみをもやすことのできる
焼却炉しょうきやくろが3つあり、平均へいきん160ト
ンのごみとおでいをもやしています。

※ おでいとは、下水処理場げすいしよりにじょうで水をき
れいにするとき発生する泥どろ（汚よごれ
や微生物びせいぶつの固まりかたなど）のこと

しつもん4

ごみピットにたくさんのごみがある
けど、くさくないの？

(こたえ)

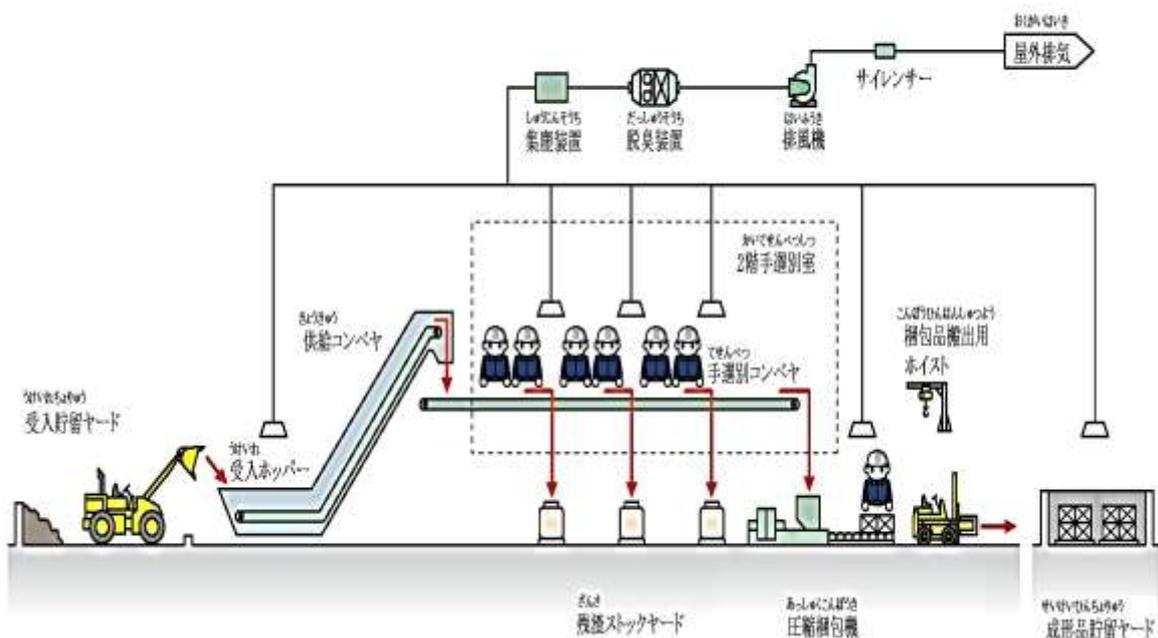
ごみのおいは、すいこんで外に出さ
ないようにしています。

そして、においも一緒に焼却炉しょうきやくろ
に入れてもやしています。

(6) リサイクルセンターのしくみ

リサイクルセンターは、プラスチックようきをリサイクルするために、平成24年に完成しました。

1日に約2t、1年間では約550tのプラスチックようきが集められ、選別、^{せいけい}成型したあと^{しげんかしせつ}資源化施設に送られます。



うけいれちよりゆう
受入貯留



しゅうしゅうしゃ
収集車で集めたプラスチックようきを、フォークリフトやベルトコンベアを使って、2階の手選別室へ送ります。

てせんべつ
手選別



プラスチックようき以外のものや、よごれたものを取りのぞきます。

あっしゆく こんぼう
圧縮・梱包



プラスチックようきを固めて、運びやすくし、資源化施設へ送ります。

(7) もやした後^ののこるもの

クリーンセンターでゴミをもやすと灰^{はい}が残ります。それも、できるだけ資源としてリサイクルしています。

どうしても利用できない分は、最終処分場^{さいしゅうしょぶんじょう}にうめています。

① 再資源化施設^{さいしげんかしせつ}

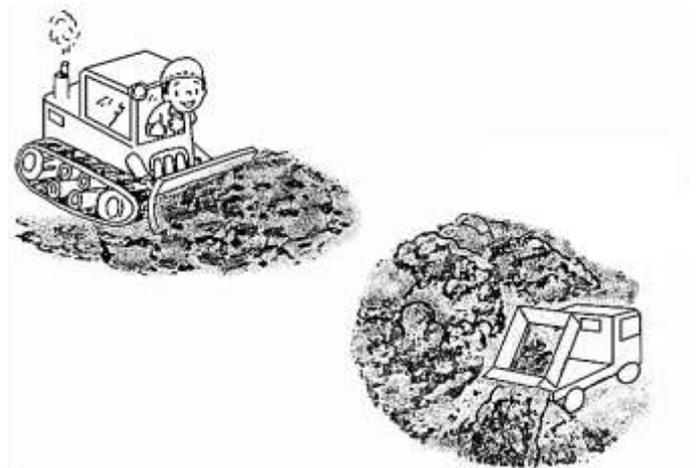
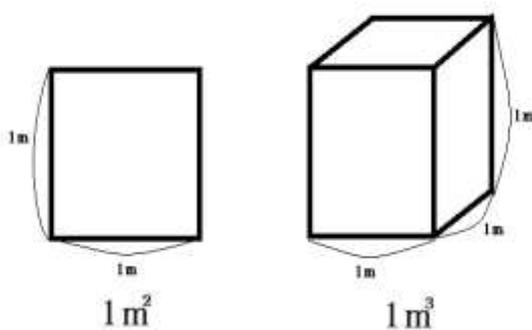
- 場所 三重県、埼玉県、栃木県、福島県、愛知県にある施設
- 資源化量^{しげんかりょう} 4,430 t (令和6年度)
- 利用方法 灰は最大1,800℃でとかすと石になり、道路を作る材料などになります。

② さいしゅうしょぶん場うめ立て地

- 場所 大垣市荒川町897番地
- 広さ 20,600 m²
- 容量 87,000 m³
- うめ立て量 50 m³ (令和6年度)



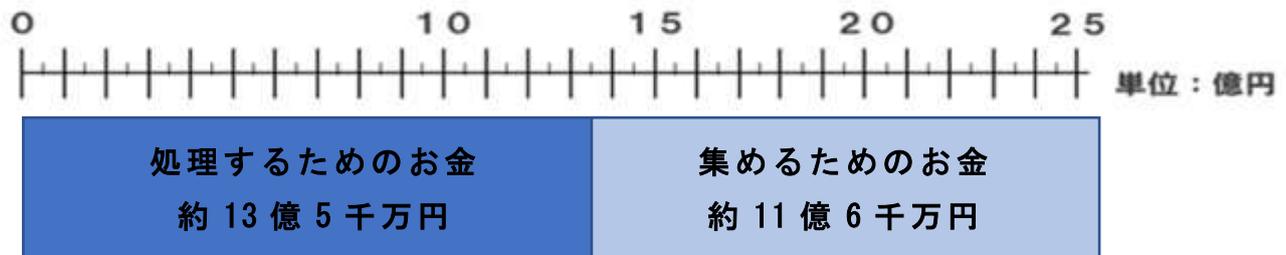
※ m²とm³とは



3. ごみを処理するには、どれくらいお金がかかるのだろう

(1) ごみを処理するために使うお金

約 25.1 億円 (令和 6 年度分)



(2) 1 人分のごみ、1 軒分のごみを処理するお金

【1 人分のお金】



約 16,000 円

【1 軒分のお金】



約 35,700 円

クリーンセンター・リサイクルセンター聞きとりカード

調べた日	年 月 日 ()
調べた人	年 組 名前
調べた施設	
グループの課題	
調べたこと・聞いたこと	
その他にわかったこと	
思ったこと・気づいたこと	

4. ごみをへらそう

今はむかしとちがい、ものを「くりかえし使う」よりも「使いすてる」ことが多くなりました。そのため、ごみがどんどんふえてしまいました。

これ以上、ごみをふやさないためにも、ごみがふえると、どんな問題が起きるか、話し合ってみましょう。

【ごみがふえると、どうなる？】

- 収集車しゅうしゅうしゃや収集する人をふやさないと
いけなくなる
- もやしたり、くだいたりすることが間に
合わなくなる
- もやしたり、くだいたりするしせつが早くいたむ
- もやす時に出る二酸化炭素にさんかたんそがふえ、地球おんだん化が進む
- うめ立て地がいっぱいになってしまう



(1) ごみをへらすためにできること

① まぜればごみ、分ければ資源しげん

ごみとして出しているものの中には、まだ使えるものがあります。なにもかも、ごちゃまぜにしてしまえば、ごみとしてもやすか、くだいてうめ立てるしかありません。

ごみと思っているものの中から資源しげんになるものをより分けて、もういちど、利用するという気持ちが大切です。

② 「ごみを出さない」「ごみにしない」

大垣市では、ごみをへらすさまざまな取組に、市民のみなさんにご協力をいただき、ごみの量は少しずつへってきました。

しかし、今よりもっとごみをへらすためには、「ごみをへらす」という考え方から「ごみを出さない」「ごみにしない」という考え方にすることが大切です。

(2) ごみをへらすキーワードは「4R」

① Reduce (リデュース) = 「へらす」

日ごろから、「自分は、どんなごみを、どれくらい出しているか」気をつけてみましょう。

よぶんなものは買わない、最後まで使いきるなど、心がけていれば、ごみはへっていきます。

② Refuse (リフューズ) = 「ことわる」

タダでもサービスでも、いらないものはごみになります。いらなければ、「いりません」と言ってことわりましょう。

1回1回は小さなことでも、積み重なれば、大きな結果になります。

③ Reuse (リユース) = 「くりかえし使う」

「古いから」、「こわれたから」、「使わないから」…、などと言って、すててしまう前に、ちょっと考えてみましょう。

直せば使えたり、工夫して別の使い道を考えたりして、できるだけ長く使ってみてください。

①から③の3つの「R」は、みなさんが、ごみを出す前にできることです。

あなたは、どんなことに気をつけますか？

でも、どんなにごみをへらしても、まったくなくすことはできないかもしれません。

そこで、ごみとして出たものを、4つ目の「R」でごみをもやす量とうめ立てる量をへらすことができます。

④ **Recycle (リサイクル) = 「再生^{さいせい}する」**

リサイクルとは、「もう一度、原料にもどして、新しく作る」という意味です。

リサイクルするためには、できるだけ不^ふ純^{じゆん}物^{ぶつ}が、まざらないようにすることがとても大切です。

ごみをすてる時は、分別方法や出し方のルールを守って、リサイクルしやすいように出しましょう。

ただし、リサイクルするにも、お金がかかります。どうしても、ごみが出てしまうときに、ごみをへらす最後の方法と考えましょう。

そして、買い物をするときには、なるべくリサイクルせいひんを選んでください。

	自分にできそうなこと
① Reduce (リデュース) = 「へらす」	
② Refuse (リフューズ) = 「ことわる」	
③ Reuse (リユース) = 「くりかえし使う」	
④ Recycle (リサイクル) = 「再生 ^{さいせい} する」	

5. みんなのまちをきれいにしよう

(1) ごみを出すときの約束



【もえるごみの出し方】

- ① 週 2 回の決められた日に、決められたごみステーションに出しましょう。※ 朝 8 時 30 分までに（すのまたちいき 墨俣地域は 8 時までに）出してください。
- ② 大垣市指定のもえるごみぶくろに入れて出してください。
- ③ 生ごみは、よく水を切って出してください。



【もえないごみの出し方】

- ① 月 1 回の決められた日に、決められたごみステーションに出しましょう。※ 朝 8 時 30 分までに（すのまたちいき 墨俣地域は 8 時までに）出してください。
- ② 大垣市指定のもえないごみぶくろに入れて出してください。
- ③ われたガラスなどは、していとうめい、またははんとしていうめいのビニールぶくろに入れてから、指定のごみぶくろに入れてください。
- ④ スプレーかん缶（使い切って、風通しのよい屋外であなをあける）、ライター、モバイルバッテリーは指定のごみぶくろに入れず、してい青いケースに入れてください。

【ビン・カン・ペットボトルの出し方】

- ① 月 1 回の決められた日に、決められたごみステーションに出しましょう。※ 朝 8 時 30 分までに（すのまたちいき 墨俣地域は 8 時までに）出してください。

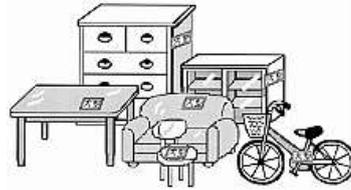


- ② あら 洗って出してください。
- ③ ビンは、色ごとに分けて出してください。
- ④ ペットボトルのふたは、ボトル・カップ・トレイ（パック類）の日に出してください。
- ⑤ ペットボトル回収ようき（ネット）のふたを、必ずしめてください。

【ボトル・カップ・トレイ（パック）類の出し方】

- ① 月 2 回の決められた日に、決められたごみステーションに出しましょう。※ 朝 8 時 30 分までに（墨俣地域は 8 時までに）出してください。
- ② プラスチック製品のうち、商品を入れたり、包んだりするものを出してください。※ 商品そのものではありません。
- ③ 汚れものは、洗って出してください。
- ④ ふくろやネット、チューブなどは、もえるごみに出してください。

【大型ごみの出し方】 （自分で運ぶとき）



クリーンセンターで出したいものを見てもらってから、西南濃粗大廃棄物処理センターへ運んでください。※ 有料です。

（クリーンセンターから取りに来てもらうとき／戸別有料収集）

- ① クリーンセンターへ電話かインターネットで予約してください。
 - ・名前や住所を聞きます。
 - ・出すものの種類や大きさ、重さなどを聞いて、料金をお伝えします。
 - ・何月何日に、どこに出せばいいかを、相談して決めます。
- ② スーパーやコンビニなどで、料金分の「大型ごみ処理券」を買ってください。
- ③ 決められた日の朝 8 時 30 分までに、「大型ごみ処理券」に名前を書き、出すものにはって、決めた場所に出してください。

※ リサイクル家電について

テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機は、リサイクル家電に指定されています。

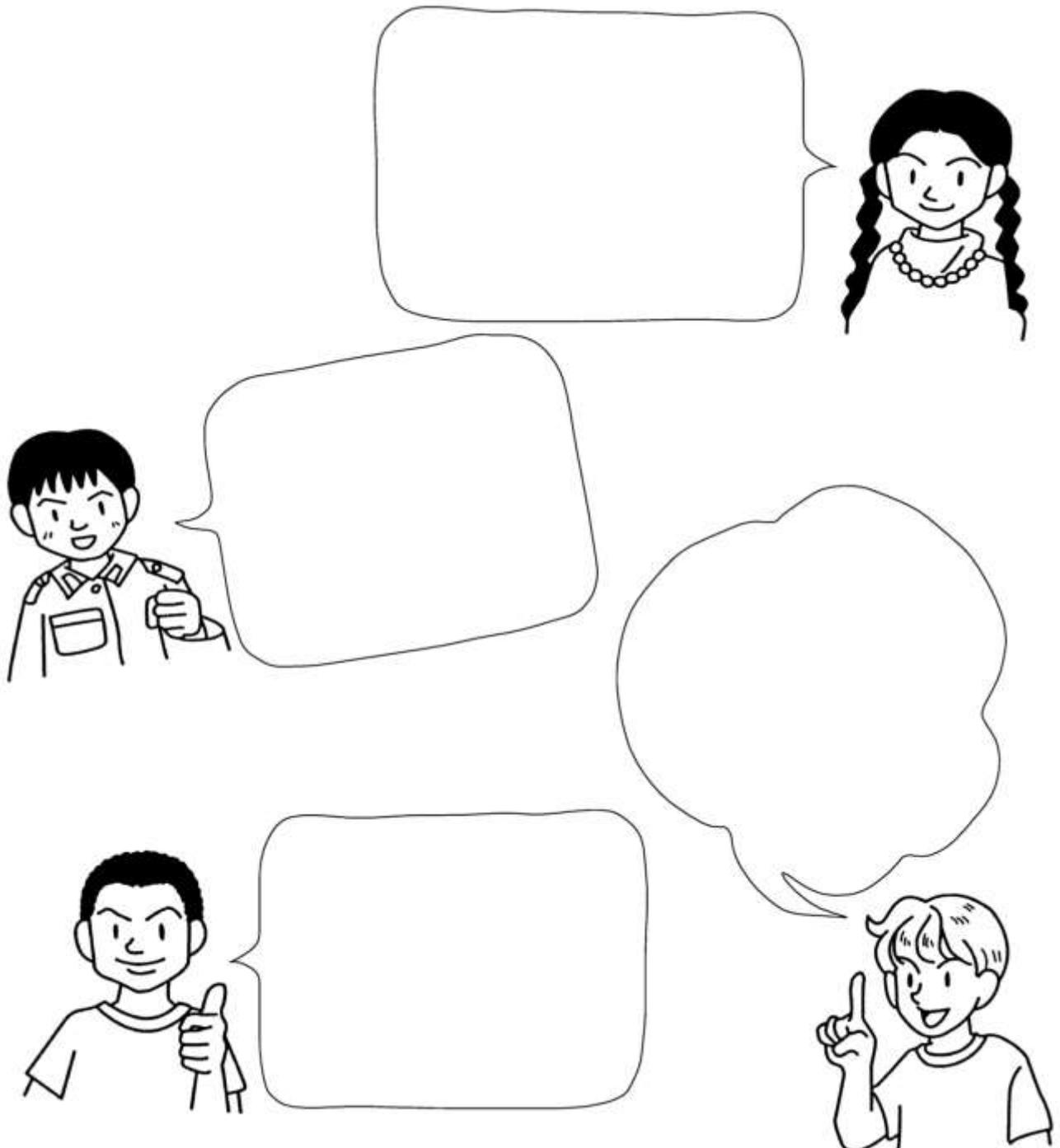
これらを出す時は、ゆうびん局で、「リサイクル券」を買い、出すものにはって出してください。

(2) 大垣市を日本一美しいまちにするために

ごみをへらして、わたしたちのまちを美しくたもつためには、大人から子どもまで、みんなで協力することが大切です。

「今、わたしたちにできること」をみんなで考え、どんなことが必要か話し合ってみましょう。

あなたは、家や学校、大垣市をごみの少ない、美しいまちにするために、どんなことをしようと思いますか？

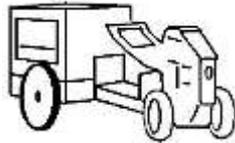
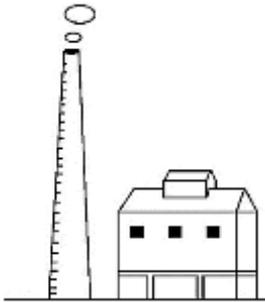


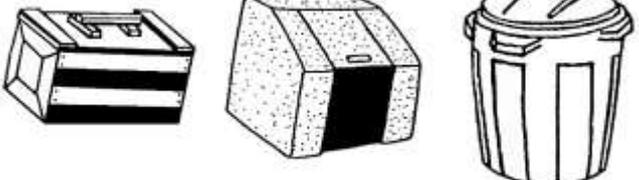
6. 大垣市のごみ処理のあゆみ

大垣市がせいそう事業を始めたのは、今から100年ほど前(大正7年)になります。

その当時は、5人の掃除監視人と大八車によるものでした。その後、大垣市のごみ処理のしかたが、どのように変わってきたのか、調べてみましょう。

年代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
大正 7 (1918)	<p>市役所がごみ集めや処理を始めました。</p> <p>※ 一部の家の多い地域だけ集めていました。</p>	<p>大垣市誕生</p> <p>戸数 5,463戸</p> <p>人口 32,225人</p>
昭和22 (1947)	<p>集めたごみは屋外でもやしていました。</p>	<p>戸数 13,112戸</p> <p>人口 63,830人</p>
昭和 25 (1950)	<p>衛生的できれいな街にするために…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ箱を家庭に1個置くように指導しました。 ・ごみ収集用のトラックを買いました。 <p>※ このころのごみ集めは月3回、鈴を鳴らして知らせていました。</p>	
昭和 27 (1952)	<p>世安町にごみ焼却場が完成しました。</p> <p>※ 焼却炉6基、1日18tのごみをもやせました。</p>	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
昭和 28 (1953)	トラック } オート三輪 } を使い、16 人でごみを集めました。 リヤカー } ごみ焼却場 ^{しょうきやくじょう} では6人がはたらいていました。	
昭和 30 (1955)		戸数 18,592 戸 人口 91,128 人
昭和 34 (1959)		伊勢湾台風 ^{いせわんたいふう}
昭和 35 (1960)	せまい通りでごみを集めるために、テイラー付きのごみ 運搬車 ^{うんぱんしゃ} を使い始めました。 	
昭和 37 (1962)	新型 ^{しんがた} のパックマスター収集車 ^{しゅうしゅうしゃ} を買いました。 トラック 3 台 オート三輪 ^{さんりん} 3 台 テイラー運搬車 ^{うんぱんしゃ} 1 台 リヤカー 3 台 米野町 ^{こめのちょう} に焼却場 ^{しょうきやくじょう} が完成 ^{かんせい} しました。 ※ バッチ炉 ^る 4基、1日40tのごみをもやせました。 一部の町でごみの定時 ^{ていじ} 収集を始めました。 ※ 今のステーション方式 ^{のうりつ} のもとで、ごみ収集の能率 ^{のうりつ} をよくするためのものでした。	

年代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
昭和 38 (1963)	<p>家庭のごみ箱が木箱からポリバケツにかわりました。</p> <p>※ 雨が入ってごみがぬれないようにするため、またハエが発生しないようにするためでした。</p> <p>ごみばこのミニミニ歴史</p> <p>昭和25年 昭和30年ごろ 昭和38年</p>  <p>りんご箱などの木箱を利用 コンクリートの共同ごみ箱 フタつきポリバケツ</p>	
昭和 39 (1964)	<p>市内全部がステーション収集方式になりました。</p> <p>ごみの収集車にオルゴールをつけました。曲は「おサルのかごや」でした。</p>	<p>東京オリンピック 東海道新幹線や 名神高速道路が 開通しました。</p>
昭和 40 (1965)	<p>まちを美しくするための市民運動が始まりました。</p>	
昭和 43 (1968)	<p>川を美しくする運動が始まりました。</p>	<p>岐阜国体</p>
昭和 45 (1970)		<p>大阪万国博覧会</p>
昭和 46 (1971)	<p>大野町に焼却施設(西濃環境保全センター)が完成しました。</p> <p>※ 大垣市のほか 19 の町や村で共同の焼却場を作りました。8時間で30tのごみをもやせました。</p>	
昭和 47 (1972)	<p>ごみの処理手数料をもらうようになりました。</p> <p>・一般廃棄物 100kg 50円</p> <p>・産業廃棄物 100kg 150円</p>	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
昭和 48 (1973)	<p>ごみの^{ぶんべつしゅうじゅう}分別収集を始めました。</p> <p>※ 「もえるごみ」と「もえないごみ」に分けて集めることにしました。</p> <p>^{ようろうちやう}養老町に^{せいなんのうそだいはいきぶつしより}西南濃粗大廃棄物処理センターが^{かんせい}完成しました。</p> <p>※ 大型ごみを^{しより}処理するため、大垣市ほか11町で^{しよりしせつ}処理施設を作りました。1日70t^{しより}処理できました。</p> <p>^{こめのせいぞう}米野清掃センターが完成しました。</p> <p>※ ふえ続けるごみを^{しより}処理するため、大垣市の^{こめのちやう}米野町に作られました。1日に180tのごみをもやせました。</p> <p>※ それまで、生ごみは、そのままうめられていましたが、もやしたあと、^{はい}灰にしてうめ立てるようになりました。</p>	<p>大垣市の木と花が決まりました。</p> <p>市の木:クスノキ</p> <p>市の花:サツキ</p> 
昭和 49 (1974)	<p>大型ごみの^{しゅうじゅう}収集を始めました(年1回)。</p> <p>18台のもえるごみ収集車と4台のもえないごみ^{しゅうじゅうしゃ}収集車を使い、1日に100~110tのごみを^{しより}処理していました。</p> <p>※ もえるごみは、^{こめのせいぞう}米野清掃センター、^{せいのかんきやうほぜん}西濃環境保全センター、もえないごみを、^{せいなんのうそだいはいきぶつしより}西南濃粗大廃棄物処理センターで^{しより}処理していました。</p> <p>ごみの^{しよりてすりやう}処理手数料を改正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・^{いっぽんはいきぶつ}一般廃棄物 100kg 100円 ・^{さんぎやうはいきぶつ}産業廃棄物 100kg 200円 	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
昭和 50 (1975)	<p>大型ごみの収集を年2回にしました。 あきビンの収集を始めました。 ※ リサイクルの始まり。</p> 	<p>戸数 36,455 戸 人口 140,425 人</p>
昭和 51 (1976)	<p>ごみの処理手数料を改正しました。 ・一般廃棄物 家庭のごみ 100kg 100 円 会社のごみ 100kg 200 円 ・産業廃棄物 100kg 300 円</p>	<p>9.12 豪雨 (大雨で大きな被害が ました。)</p>
昭和 57 (1982)	<p>大垣市リサイクリング運動運営委員会ができました。</p>	<p>と だ こうにゆうじょう ねんさい 戸田公入 城 350年祭</p>
昭和 60 (1985)		
昭和 63 (1988)		<p>ぎふ ちゅうぶ みらい ぼく ぎふ中部未来博</p>
へいせい がんねん 平成元年 (1989)	<p>資源分別回収事業奨励金制度を始めました。 ※ 資源回収をしている団体に奨励金を出すことに しました。</p>	
平成 2 (1990)	<p>あきビン回収ポストが市内に置かれました。 市役所にごみ問題対策本部推進本部を作りました。 ※ このころ、ごみがふえて問題になっていました。</p>	
平成 3 (1991)	<p>ごみ問題市民懇話会が作られました。 ※ ふえるごみをどうしたらよいか考えるため、市民の 代表が何度も話し合い、その結果を、市長に提案しまし た。</p>	
平成 4 (1992)	<p>荒川町に最終処分場ができました。 リサイクルフェアを始めました。</p>	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
平成 5 (1993)	<p>ごみの処理手数料を改正しました。</p> <p>・一般廃棄物 家庭のごみ 100kg 100 円 会社のごみ 100kg 400 円</p> <p>・産業廃棄物 100kg 600 円</p> <p>廃棄物減量等推進委員をお願いすることになりました。</p> <p>※ ごみを減らすため、町内で委員の人をえらんでもらうことにしました。</p> <p>資源ごみの収集を始め、5種分別収集としました。</p> <p>※ ごみを5種類に分けて出すようにしました。</p> <p>①もえるごみ ②もえないごみ ③ビン ④カン ⑤大型ごみ</p> 	
平成 6 (1994)	<p>もえるごみを出すときに透明か半透明のごみ袋を使うようにしました。</p> <p>※ 中が見える、よこ 70cm・たて 80cm、45ℓ までのごみ袋を使うようにしました。</p> <p>西南濃粗大廃棄物処理センターで、冷蔵庫やクーラーのフロンガス、蛍光灯などの水銀の回収を始めました。</p> <p>ごみ処理のシール制を始めました。</p> <p>※ もえるごみにシールを貼って出すようにしました。</p> <p>きれいな絵の収集車になりました。</p> <p>※ みなさんから募集した、絵や標語を描いた収集車が走るようになりました。</p> 	

年代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
平成 7 (1995)	<p>阪神淡路大震災のため西宮市へごみ処理のお手伝いに行きました。</p> <p>ごみステーションに乾電池入れをくばり始めました。給食の残りなどを利用し、「たいひ」を作り始めました。</p> <p>※ 作った「たいひ」は、学校の花だんなどに使われています。</p>	阪神淡路大震災
平成 8 (1996)	<p>大垣市クリーンセンターが完成しました。</p> <p>※ 1日 240t のごみをもやせます。</p> 	
平成 10 (1998)	<p>ごみの処理手数料を改正しました。</p> <p>・一般廃棄物 家庭のごみ 100kg 100円 会社のごみ 100kg 600円</p> <p>・産業廃棄物 100kg 900円</p> <p>養老町に新しい西南濃粗大廃棄物処理センターが完成しました。※ 1日(5時間)で70t処理できます。</p> <p>ペットボトルの分別収集を始めました。</p>	
平成 12 (2000)		おおがきはく 大垣博
平成 13 (2001)	<p>家電リサイクル法が定められました。</p> <p>大型ごみの戸別有料収集を始めました。</p> <p>※ 出す人が予約をしてとりにきてもらう方法です。</p>	
平成 14 (2002)	<p>大垣市リサイクルプラザ「クルクルワールド」を開設しました。</p> <p>※ 大型ごみで集められた家具の中からリユースできそうなものを修理・清掃して展示・販売しています。</p>	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
平成 15 (2003)	もえるごみのハッピーマンデー祝日収集を始めました。 ※ 海の日、敬老の日、体育の日、成人の日も収集するようにしました。	
平成 16 (2004)	給食センターのてんぷら油を収集車の燃料として使い始めました。	
平成 17 (2005)		愛知万博 (愛・地球博)
平成 18 (2006)	大垣市、墨俣町、上石津町が合併し、新しい大垣市が誕生しました。 ごみの処理手数料を改正しました。 ・一般廃棄物 家庭のごみ 100kg 900 円 会社のごみ 100kg 900 円 ・産業廃棄物 100kg 1,300 円	
平成 20 (2008)	市内の大型スーパーなどで、レジ袋の有料化が始まりました。	
平成 21 (2009)	ごみをもやしたときに出る熱を利用して作った電気を売るようになりました。	
平成 23 (2011)	ごみの処理手数料を改正しました。 ・一般廃棄物 家庭のごみ 10kg 100 円 会社のごみ 10kg 100 円 ・産業廃棄物 10kg 150 円	ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災
平成 24 (2012)	リサイクルセンターの建設を始めました。 リサイクルセンターが稼働しました。 プラスチック製容器包装の収集を始めました。	

年 代	ごみ処理の移りかわり	おもなできごと
平成 29 (2017)	クリーンセンターの主な設備を新しくしました。 ※ 焼却設備の更新とごみをもやすとぎにでる二酸化炭素をへらすための工事を行いました。(平成 26 年度から 4 年かけて工事)	御嶽山噴火
平成 30 (2018)	大垣市ごみ分別アプリを始めました。	大垣市制 100 周年
令和元年 (2019)	大型ごみ処理手数料 (大型ごみシール金額)、改正	消費税率変更 (8% ➡ 10%)
令和 2 (2020)	リサイクルプラザ「クルクルワールド」が閉館しました。 新型コロナウイルス感染症対策として自粛期間中のごみがふえました。	新型コロナウイルス 感染症拡大 緊急事態宣言
令和 3 (2021)	廃棄物減量等推進委員制度をやめました。	レジ袋有料化
令和 4 (2022)	大型ごみのインターネット予約が始まりました。	
令和 5 (2023)	有料指定ごみ袋制度が始まりました。	
令和 6 (2024)	能登半島地震のため能登半島へごみ処理のお手伝いに行きました。	令和 6 年能登半島地震
令和 7 (2025)	もえるごみの指定ごみ袋 (大) と (小) を取っ手つきに変更しました。 もえるごみの指定ごみ袋、極小サイズをあたらしく作りました。	

わければ資源

まぜればごみ



小学校

年

組

なまえ